

## 『学生生活で最も充実した半年間』

氏名：窪田詩音

所属：国際文化学部・国際文化学科・4年

派遣留学先：華東師範大学（中国）

派遣留学期間：2025年2月～（半年）

私は中国語をより深く学ぶために、2025年2月から中国の上海にある華東師範大学に半年間交換留学をしました。留学は実家を長く離れることや、寮生活など初めてのことばかりでした。

大学の中国語の授業では、クラスメートは中国人以外の他の国の学生です。勉強は慣れるまで予習復習はとても時間がかかりましたが、慣れてしまえば講義の理解度が高くなって、より楽しく中国語を学ぶことができました。出会った現地の方はとても優しく、学校の先生が曰く、外国人は中国で言うパンダぐらい大事にされるだよとのことで、とにかく優しく、困ったときは助けてくれる、とても温かい人ばかりだなと感じました。

留学中、クラスメートと関わる中で苦労したことは、意見の表明です。留学に行く前、私は自分の意見を持っている方だと思っていましたし、発言もする方でした。しかし外国人のクラスメートと授業を受ける中で、みんなが意見や質問を積極的に主張するから、ついていけない、後れを取るかもしれないと焦りを感じました。それでもわからないことはわからないと自分も意思表示をするようにし、周りの意見に押しつぶされないように頑張りました。そこからは、人間関係も円滑に進めることができ、友達付き合いがどんどん楽しくなりました。また政治に興味関心をもっと持つべきだと実感しました。そして、世界の歴史も学ぶべきだと思いました。日本で学ぶ歴史は世界史だとしても、日本に関わりがある歴史が多く、日本に不利な歴史は少ないような気がします。いろんな観点から日本や世界を学ぶ必要があると改めて感じました。

この留学を通して私はもっと中国語を勉強したいと思うようになりました。日本にいたときより中国語が聞き取れるようになったり、話せるようになったりしたことももちろんですが、中国語を通して中国の良さ、中国人の良さを知ることができました。より深く中国語を学び、日本に中国の良さを広めたり、中国に日本の良さも知ってもらったりするための架け橋になればいいなと思います。中国語を学ぶことが辛く楽しく、学生生活で最も充実した半年になったと思います。サポートして下さった全ての方に感謝を伝えたいです。

